

■ルワンダ：エネルギー分野に民間投資を呼びかけ

ルワンダ政府は2013年4月1日、同国内で開催されたナショナル・リーダーシップ・リトリート会議の中で、エネルギー分野における民間投資を促進する方針を明らかにした。公共事業省は分野を問わずあらゆる方面からの投資を促進する意向で、地熱発電や水力発電、太陽光発電を積極的に導入したいと考えている。同国の供給力増強計画では、2017年までに供給力を100万kWとする目標が定められており、少なくとも56万3,000kWまで引き上げる方針である。しかし、2014年6月までの単年度目標である供給力8万kW増強の達成が見込めないなど、開発が進まない状況を受け、政府は民間を含めた投資を呼びかけたもの。この会議において財務省は、エネルギーの開発が最重要課題で、確実に進めるには技術・技能の発展が必要不可欠であるとの意向を明らかにしている。